

福島県立平工業高等学校

生徒会

身近なことから始まるボランティア活動

～活動理念～

～すべては喜んでくれる人たちの笑顔のために～

「福島議定書」への取り組み



今世界中で取り組まれているSDGsの13番～15番の目標達成に繋がる



目標「本校でのCO₂排出量を2%削減すること」

福島議定書とは？
学校が二酸化炭素排出量の削減目標など自ら定め、知事と「議定書」として取り交わし、主体的に省エネ・省資源等に取り組む事業です。

昨年の9月から10月の2ヶ月間「福島議定書」事業に取り組みました。本校では一昨年の9月～10月と比較して二酸化炭素排出量の2%削減を目指して取り組みました。

主な活動として、節電・節水・環境保全の3つに力を入れました。昼食時に放送での呼びかけ・節電のシールを校内全ての照明スイッチに貼ることで、生徒の意識向上を図りました。放課後には、各教室のプラグがコンセントから抜けているかの見回りを行いました。

全校生徒や先生方の協力もあり、結果として**11.5%の削減、福島県1位の最優秀賞を受賞**することができました。



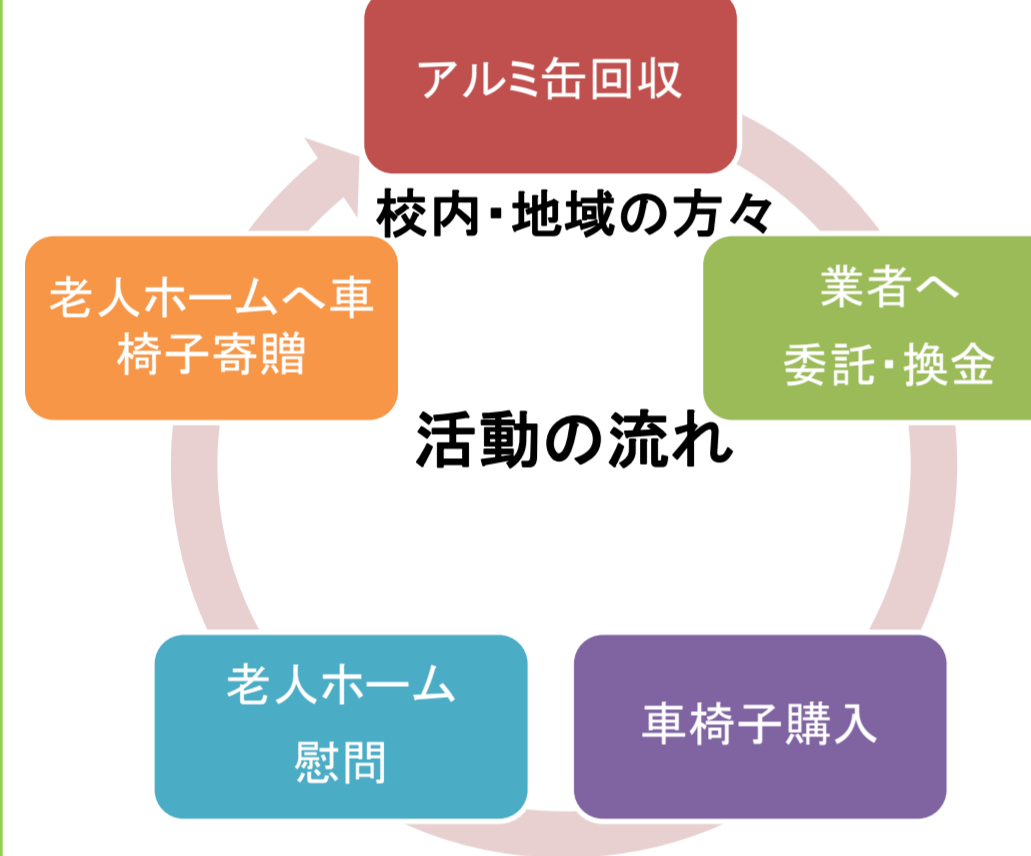
見回りの様子



節電シールを貼る様子

アルミ缶回収による車椅子寄贈

この活動は、平成12年度卒業の先輩方の「自分たちも何か人の役に立つことができなにか」という思いから生まれました。活動を始めてから22年間で計約14.3tのアルミ缶を回収しました。



アルミ缶回収の様子



発送の様子

アフリカのマリ共和国へ ジャージや運動靴を送る活動



この活動は、高校入学時に購入した指定のジャージや運動靴を卒業時に寄付してもらいます。また、地域の方々や先生方が寄付してくれます。それらをアフリカのマリ共和国の子供達へ贈っています。マリ共和国はアフリカの西に位置する国で、乳児死亡率が1,000人出生あたり115人と小さな子供の死亡率がとても高い国です。

物資は、全て私達の手で洗濯してから発送します。汚れのひどい運動靴は、ブラシを使って手洗いで、完全に乾かすために天日干しをします。また、ジャージなどの衣服は綺麗に洗濯してから箱詰めを行います。物資を晴天時に天日干しして、完全に乾かすことでカビの発生防止を心掛けています。平成18年から始まったこの活動は16年目になりました。昨年10月に行った第16回発送式では、計260点、重さにして177kgの運動靴を発送しました。輸送費は、全校生徒や職員の方々からの募金等で集めています。今後もこの活動を継続し、より沢山の子どもたちを笑顔にしていきたいです。



天日干しの様子



発送式の様子

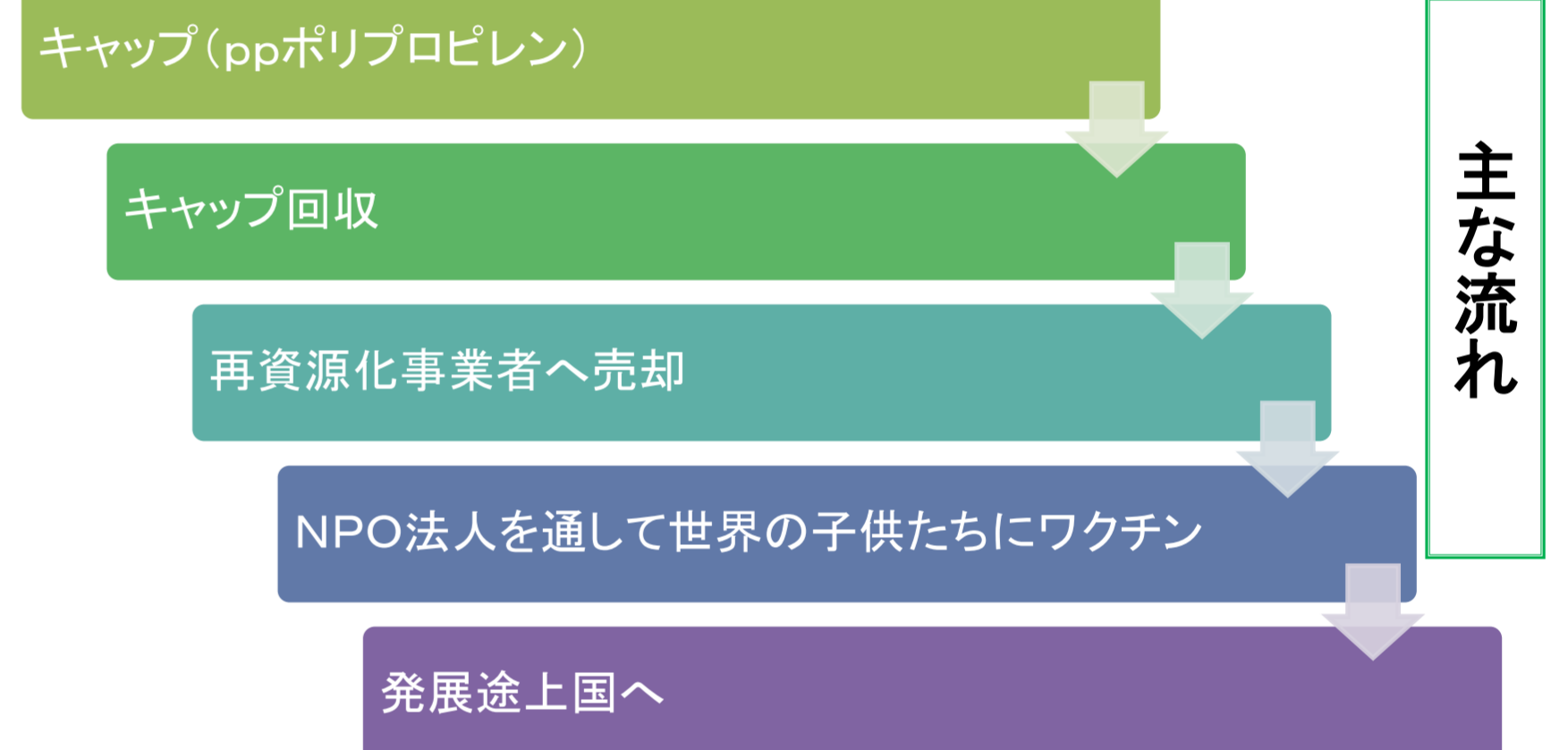


マリ共和国の子供達

これまでの総数
総支援物資…9703点
総重量…3478kg

ペットボトルキャップ回収による 世界の子供たちにワクチンを贈る活動

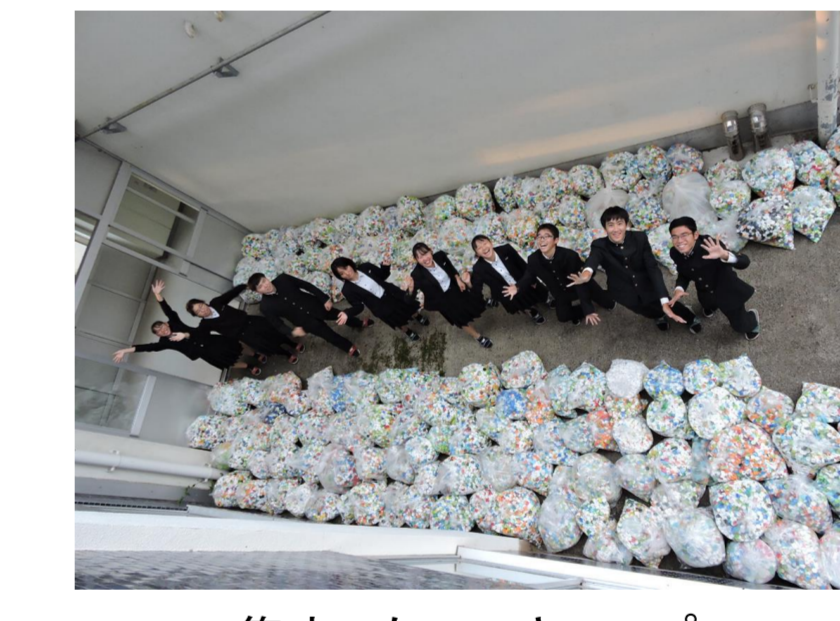
この活動は、平成20年度の先輩方が自分達の代で何か新しいことに挑戦したいという強い思いから始まった活動です。ペットボトルキャップは、良質のプラスチック(ポリプロピレン)から作られていて、熱処理などを施すことで、車のバンパーや建築資材等に再利用されます。回収方法は、学校で出たキャップを集めることはもちろん、地域の方からの寄付も多くあります。回収したキャップを再資源化業者へ委託しNPO法人を通してポリオワクチンが世界の子供達に届けられます。



活動の様子



協力してくださる地域の方々



集まったエコキャップ



発送の様子

これまでに、約205万個を集めました。ペットボトルキャップ800個で1人分のワクチンとなるので、私たちは、ワクチンの本数にして2,380人分を達成したことになります。

様々な研修会

- ①保育所訪問 (平成13年～) 第20回
寸劇やバルーンアートなどを行い、子供達の笑顔がみれるように工夫しています。様々なことに挑戦することで、新たな自分を発見することができます。2020年12月で20年目になりました。
- ②生徒会執行部・HR役員リーダー研修会 毎年
ワークショップなどを通して、生徒会執行部と各HR役員の相互の連帯意識を高めると共に、生徒会への理解を深めリーダーとしての自覚を持たせます。
- ③生徒会執行部・OB会夏季合同研修会 第17回
本校生徒会のOB・OGの方々毎年夏に1泊2日で行っています。先輩方から活動の歴史や苦労話・活動に対する想いを聞き、その想いが私達に受け継がれます。活動を絶やすことなく継続させようと思感することができます。活動の実践事例・意見交換などを通して役員全員の団結力とリーダーとしての意識を高めることができます。昨年17年目になりました。
- ④生徒会ニューリーダー冬季6校合同研修会 第22回
生徒会が毎年主催して行う研修会です。福島県内高校の有志の生徒会に呼びかけ実施しています。他校と情報交換・各高校の特色を発表し、様々な問題点について話し合い、活動の幅を広げています。この活動は、22年間続いている研修会です。2019年3月で22年目になりました。



生徒会執行部・OB会夏季合同研修会話し合いの様子



花壇の様子

その他の活動

- ①緑化委員会・JRCボランティア愛好会と協力した校内外の清掃・植栽
学校に花をいっぱい植えて学校が明るくなるように、季節に合った花を校門前と裏門付近に植えています。福島民友新聞社主催、花いっぱいコンクールでは奨励賞を受賞することができました。また、本校に生け花の先生をお招きして行っている生け花教室にも参加し、完成した作品は校内数ヶ所に展示します。
- ②JRCボランティア愛好会での活動
私達は様々なボランティア活動を行っています。それを一般の生徒にも広げたいという思いで平成27年にボランティア愛好会を発足しました。平成28年には、JRC(青少年赤十字)に加盟し、より一層の活動の輪を広げることに取り組んでいます。人道支援募金や赤い羽根共同募金等を行っています。

表彰(令和3年度)

- ①福島民友新聞社主催 花いっぱいコンクール 奨励賞受賞 (緑化委員会・JRCボランティア愛好会との連携)
- ②高校生新聞社賞受賞
- ③福島県高等学校PTA連合会 表彰 (社会貢献活動)
- ④令和3年度温暖化防止にみんなで取り組む「福島議定書」事業 学校版 最優秀賞受賞 (福島県1位)



「福島議定書」事業(最優秀賞)

1 活動を通して気付いたこと

- ①発想の転換 → 新たな活動
- ②一歩踏み出す勇氣 → 挑戦
- ③想いの継承 → 伝統

2 活動を通して感じたこと

- ①多くの人との関わり → コミュニケーション能力の向上
- ②達成感・充実感 → 愛着心
- ③人との「繋がり」 → 感謝
- ④自己のスキルアップ → 成長



今後の予定

現在、木材を使用したおもちゃで遊んでいる子供が減っています。私達は一昨年と昨年度に作製した衝立・ジェンガに続く「木材を使った木のぬくもりを感じる子供用おもちゃの作製」を予定しています。そのために、本校土木環境工学科と共同で作製しようと考えています。作製したおもちゃを、保育所訪問を行った際に、子供達に遊んでもらいます。子供達が直接木に触れ、プラスチックでは感じられない香りや温もりを楽しんでもらいたいです。
感染症対策衝立・木のぬくもりを感じる子供用おもちゃの作製・寄贈(令和2年～)



中学校等へ寄贈した衝立



保育所へ寄贈予定のジェンガ

あしがき

私達、福島県立平工業高等学校生徒会は、現在男子10名、女子2名の計12名で活動しています！本校の生徒会活動は多くの活動に力を入れています。これらの活動ができるのは、決して私達だけの力ではありません。地域・企業の皆様、OB・OGの先輩方など、沢山の皆様のおかげです。

これからも『～すべては喜んでくれる人達の笑顔のために～』という活動理念のもと「もったいない」精神で、先輩方が始めた様々な活動や熱い想いを多彩な研修会等を通して受け継いでいきます。